

## おの100で頂いた多くのヒトのあたたかみ

私は現在、食品メーカーで働いている社会人1年目です。社会に出て、怒涛の毎日を送る中で「おの100を体験していなかったら…」と思うことが多々あります。おの100で頂いた多くの学びを、この場をお借りして記していきます。

始めに、私はおの100で多くの失敗をしました。失敗したことで、何度もひどく、それはそれはひどく落ち込みました。人生の中でここまで落ち込んだことはありません。失敗し落ち込む中で私は多くの“ヒト”に支えて頂きました。班付きリーダーを任された時、本番5日間、多くの仲間叱咤激励してもらいました。「子どもたちはあんなに頑張ろうと前向いてるのに、いつまでお前は下向いてるんや!」「お前ならまだまだ出来ると信じとるぞ!」本心で思いきり想いを伝えてくれた瞬間、瞬間は今でも鮮明に覚えていますし、私の心に響き続いています。

また、今過去の5日間を振り返ると、私は子どもたちにずっと支えられていたなと感じます。子どもたち同士で声かけあって歩く後ろ姿、声が枯れても足が痛くても顔上げて前向いて歩くこうとする姿、何の曇りもない無邪気な笑顔を観ました。

当時共に過ごした子どもたちは今の私のお手本であり、心に生き続ける師匠です。社会人となり、目の前の試練や困難から逃げたくなるのが何度もありますが、「あの子たちのように前向きぞ!」「こんなことで落ち込んでいる暇ないよな!笑顔で切り替えて次頑張ろう!」と思い、日々生活しています。

おの100で出会えた仲間、子どもたち、支えて下さった方々への感謝の気持ちを、今はまず会社に還元していきたいと考えています。私が働いている会社は人手不足で、担当とは異なる部署で仕事をする機会が多々あります。様々な部署で働く中で、同僚の方々が何か悩まれていると察する瞬間があります。私はそんな時、その人の心に少しでも寄り添えたら、と思いながら自分から話を聴きにいくことを意識しています。違う部署でも、年齢が離れていても、違う考え・価値観をもっているにしても、人がヒトに寄り添おうとする姿勢は相手の心をポカポカにさせてくれると、私は思います。今まで多くの方々から支えられて得た学びを、まずは会社の同僚の方に対して余すことなく使っていきます。会社という1つのチームを、微力ではありますが、若手の私から良い影響を出して、会社の雰囲気や士気をより良い方向に向けられるように、自分らしく働いていきます。

現在私は社会人スタッフとして、おの100に関わっています。研修や夏の本番で光輝いている学生スタッフの皆さんを観て、多くの刺激を頂いています。私にとっておの100に真摯に向き合おうと顔晴っている学生スタッフの皆さんは「現状維持ではいかん!まだまだ俺もやれるな!頑張ろう!」そう奮い立たせてくれる存在です。いつも有難うございます。影ながら学生スタッフの皆さんをこれからも観続けていきます。これからもよろしくお願ひします。